

(2) 一般会計・特別会計決算の状況

① 一般会計

一般会計の決算額は、計数関係資料1-3のとおりですが、その規模は、

歳入 10,429 億円 (前年度 8,223 億円)

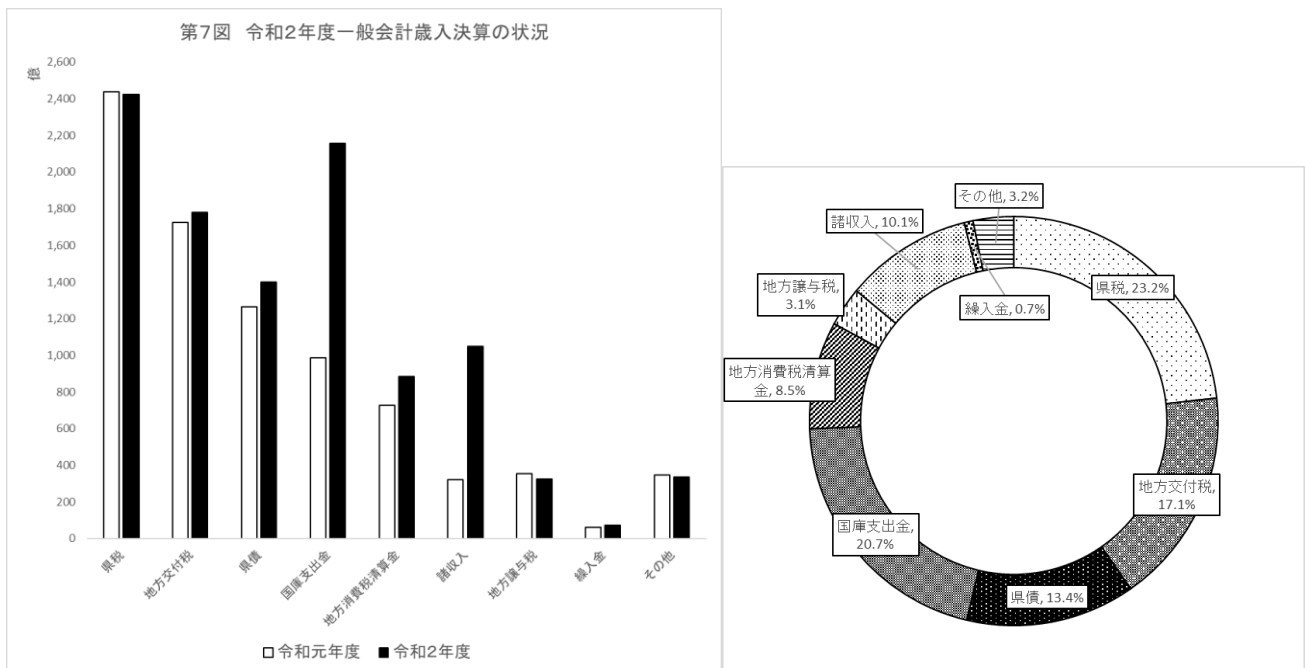
歳出 10,142 億円 (前年度 8,085 億円)

となっており、歳入総額、歳出総額ともに前年度に比べ増となりました。

歳入歳出差引額は、286 億 9,088 万円となっていますが、これから令和2年度へ繰り越すべき財源 75 億 3,016 万円を控除した実質収支は、211 億 6,072 万円の黒字となりました。

このうち、新型コロナウイルス感染症対策に係る額は、歳入が 1,688 億円、歳出が 1,538 億円となっています。差額は令和3年度中に精算を予定している国庫支出金等の未充当額であり、これを実質収支から差し引いた額は、前年度の実質収支を下回っています。

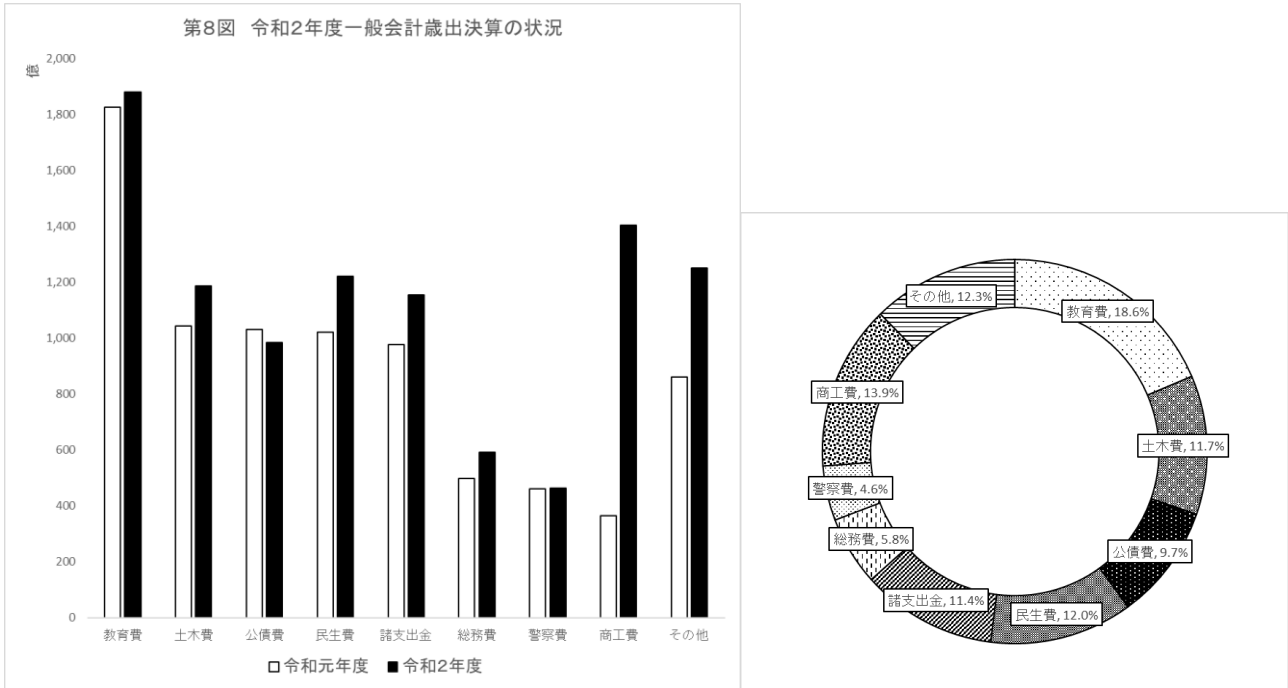
〔歳入〕



- 県 税 収 入
 - ・ 2,424 億円で前年度 (2,438 億円) に比べ、14 億円 (0.6%) の減となっています。
 - ・ これは、新型コロナウイルス感染症の影響による法人二税の減収などによるものです。
- 地方消費税清算金
 - ・ 886 億円で前年度 (727 億円) に比べ、159 億円 (21.9%) の増となっています。
 - ・ これは、消費税率の引き上げに連動して増収となったものです。
- 地方交付税
 - ・ 1,779 億円で前年度 (1,724 億円) に比べ、55 億円 (3.2%) の増となっています。
- 国庫支出金
 - ・ 2,157 億円で前年度 (985 億円) に比べ、1,172 億円 (119.0%) の増となっています。
 - ・ これは、新型コロナウイルス感染症対策に関連した国交付金の増などによるものです。
- 繰 入 金
 - ・ 73 億円で前年度 (60 億円) に比べ、13 億円 (21.2%) の増となっています。
 - ・ これは、県有施設整備・新型コロナウイルス感染症対策基金の取り崩しが増加したことなどによるものです。
- 県 債
 - ・ 1,401 億円で前年度 (1,264 億円) に比べ、137 億円 (10.8%) の増となっています。
 - ・ これは、国の国土強靱化対策に係る公共事業の増加のほか、地方税の減収を補うための県債発行の増加によるものです。

〔歳 出〕

第8図 令和2年度一般会計歳出決算の状況



○ 民 生 費

- ・ 1,221億円で前年度(1,021億円)に比べ、200億円(19.6%)の増となっています。
- ・ これは、生活福祉資金貸付事業に係る貸付原資助成費や、介護施設等に従事する職員への慰労金など、新型コロナウイルス感染症対策事業の増によるものです。

○ 衛 生 費

- ・ 621億円で前年度(235億円)に比べ、386億円(163.9%)の増となっています。
- ・ これは、医療機関の病床確保に対する空床補償経費や、医療機関等に勤務する方への慰労金など、新型コロナウイルス感染症対策事業の増によるものです。

○ 農林水産業費

- ・ 510億円で前年度(476億円)に比べ、34億円(7.2%)の増となっています。
- ・ これは、国の補正予算に伴う投資的経費の事業量が増となったことによるものです。

○ 商 工 費

- ・ 1,404億円で前年度(364億円)に比べ、1,040億円(286.1%)の増となっています。
- ・ これは、国の補正予算に伴う亜炭鉱跡防災対策事業の増のほか、中小企業制度融資貸付金の金融機関への預託金や、県の要請等に応じ営業時間短縮に協力いただいた事業者への協力金など、新型コロナウイルス感染症対策事業の増などによるものです。

○ 土 木 費

- ・ 1,188億円で前年度(1,044億円)に比べ、144億円(13.8%)の増となっています。
- ・ これは、投資的経費の事業量が増となったことによるものです。

○ 教 育 費

- ・ 1,882億円で前年度(1,826億円)に比べ、56億円(3.1%)の増となっています。
- ・ これは、県立高等学校において学習用タブレットを整備したことなどによるものです。

○ 災害復旧費

- ・ 87億円で前年度(113億円)に比べ、26億円(22.5%)の減となっています。
- ・ これは、平成30年7月豪雨など過去に発生した災害の復旧経費が減となったことによるものです。

○ 公 債 費

- ・ 985億円で前年度(1,031億円)に比べ、46億円(4.4%)の減となっています。
- ・ これは、県債発行額を抑制してきたことによるものです。

○ 諸 支 出 金

- ・ 1,155億円で前年度(978億円)に比べ、177億円(18.1%)の増となっています。
- ・ これは、地方消費税清算金及び地方消費税市町村交付金が増となったことによるものです。

② 特別会計

令和2年度特別会計（会計数10会計）の決算額は、計数関係資料1－4のとおりで、

歳入 3,867 億円（前年度 3,180 億円）

歳出 3,776 億円（前年度 3,114 億円）

となっています。

10 特別会計のうち、公債管理特別会計が歳出決算額の 51.7%を占める 1,951 億円となっており、次いで、国民健康保険特別会計が 1,755 億円（46.5%）、地方独立行政法人資金貸付特別会計が 37 億円（1.0%）などとなっています。